

| | |
|---------|---|
| 氏名 | 建石 隆太郎 |
| フリガナ | タテイシ リュウタロウ |
| 英名 | Ryutaro Tateishi |
| 職位 | 教授 |
| 学位 | 工学博士 |
| 大学院専攻 | 理学研究科地球生命圏科学専攻 |
| 学部学科 | 理学部地球科学科(兼担) |
| 研究室 | 工学系総合研究棟 8階 |
| TEL/FAX | 043-290-3850 / 043-290-3850 |
| Eメール | tateishi@faculty.chiba-u.jp (@マークは半角でご入力下さい) |
| URL | http://www.cr.chiba-u.jp/tateishi-lab/home.htm |
| 所属学協会 | 日本リモートセンシング学会、日本写真測量学会 |
| 専門分野 | 陸域リモートセンシング、土地被覆、環境データベース |
| 研究テーマ | 衛星データからの地表面情報の抽出 グローバル/大陸/国土スケールの陸域環境情報データベースの構築 |
| 発表論文等 | Ryutaro Tateishi, Javzandulam Tsend-Ayush, Mohamed Aboel Ghar, Hussam Al-Bilbisi, Takaki Okatani(2007): Sampling methods for validation of large area land cover mapping. <i>J. Remote Sens. Soc. Jpn</i> , 27 (3), 195-204. 小林利行、建石隆太郎(2007): 1981-2000年時系列 AVHRR/NDVI データを用いたグローバル土地被覆変化可能性地域マップの作成. 日本リモートセンシング学会誌, 27 (3), 216-227. Rakhmatuloh, Daisuke Nitto, Hussam Al Bilbisi, Kota Arihara, Ryutaro Tateishi(2007): Estimating percent tree cover using regression tree method with very-high-resolution QuickBird images as training data. <i>J. Remote Sens. Soc. Jpn</i> , 27 (1), 1-12. |
| 主な著書 | R. Tateishi and D. Hastings(Ed.) (2000): Global Environmental Databases, ISPRS WG IV/6(1996-2000), Geocarto International Centre, 250p. R. Tateishi and D. Hastings (Eds)(2002): Global environmental databases Volume 2, ISPRS WG IV/8(2000-2004), Geocarto International Centre, 154p. |
| 担当講義 | 教養展開科目「地球環境とリモートセンシング」(CEReS 全教員) 前期木曜 2限 理学部地球科学科「リモートセンシング入門」後期木曜 2限 工学部情報画像工学科「リモートセンシング工学」(分担) 前期金曜 2限 大学院理学研究科・地球生命圏科学専攻地球科学コース 「環境リモートセンシング特論」(分担) 前期木曜 4限 「環境リモートセンシング B」(分担) 前期金曜 2限 「環境リモートセンシング B」(分担) 後期金曜 2限 |
| 研究概要 | 衛星データを利用した陸域情報抽出・モニタリングに関する研究を行っています。具体的には次の三つの方向の研究を行っています。一つ目でもっとも主要なテーマは、グローバルあるいは大陸規模での土地被覆マッピングとモニタリ |

ングです。この中に、広域時系列衛星データの前処理に関する研究、土地被覆情報抽出手法に関する研究、精度評価に関する研究、広域な植生変動の解析研究などの研究が含まれます。最近では、地球地図プロジェクトとして、全球土地被覆、全球樹木被覆率のデータを完成させました。二つ目のテーマは、日本の国土の基盤土地被覆データ作成に関する研究です。実用に使える継続的なデータ作成を実現するための研究に取り組んでいます。三つ目のテーマは衛星データを利用して主にアジアにおける地域的な環境把握に関する研究です。例えば、モンゴルの植生変動、農地変化のモニタリング、ベトナムの森林変化モニタリング、バングラデシュのマングローブ林検出、ヨルダンにおける都市化モニタリングなどです。